

目標達成計画

作成日: 令和 5年 5月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	ケア会議等での意見交換は行っているものの、介護計画作成におけるスタッフへの理解・関わり方について課題があり、よりチームとして取り組む仕組みが必要。	スタッフはもとより家族も巻き込んだ(ニーズをくみ取る)チームとしての介護計画作成に取り組む、出来るだけ本人の望む生活を支えるケアに繋げていく。	1、計画的な介護計画に関わる勉強会の実施 2、担当制も含め、スタッフがより計画作成が身近になる役割の配分。 3、家族の意向を確認する際に、意見が出しやすい項目などでは家族からも生活に対する希望を聞き取る等の工夫を行う。	12ヶ月
2	10	コロナ禍もあり、面会等の機会も減っている為、家族とのやり取りなどを決めた職員が行うことが多く、スタッフ全体としての家族との関わりが少なくなっている。チームとしての家族との関係性作りを行っていく必要がある。	家族にも職員の顔を知ってもらい、安心してケアを任せてもらえるような信頼関係を作り、気軽に意見などを聞ける状況が作れる。	法人の方針として、条件付きでの対面面会が再開される。今後、面会の頻度が増えると思われる、その場にスタッフも同席することになる為、顔を向き合った中で本人の日頃の様子を伝えながら、関係性構築を図っていく。	6ヶ月
3	29	コロナ禍でもあったため、地域との交流の機会は以前より激減している。入居者はもとより、スタッフも地域と関わる機会が一部にとどまっており、地域の情報などに触れる機会も減ってしまっている。今後の地域資源の活用などへ支障をきたす恐れがある。	スタッフが地域との関りの機会を持ち、地域の情報を知ることが出来る事で、入居者の地域との関わりや地域資源の活用につなげる下地作りが行える。	1、地域のまちづくり協議会等の参加を継続。 2、地域の広報誌などを職員で回覧し、地域の情報を知る機会を作る。 3、地域のスーパー等への買い物などを再開し段階的に地域との交流の機会を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。